



## カエルには、どうしてへそがないの

### カエルは卵を産む

春3月ごろ、池やぬま、川の流れのゆるやかな所などを探すと、黒いつぶを、とう明なゼリーに包んだような、カエルの卵が見つかります。この黒いつぶのようなものが、だんだん大きくなり、オタマジャクシになって、泳ぎ出します。オタマジャクシが、カエルの子どもです。

### へそは、お母さんから栄養をもらっていた管のあと

人間の子どもは、卵ではなく、お母さんのおなかの中で、栄養をもらいながら育ちます。そして、おなかの中から出て、生きていけるようになってから、赤ちゃんとして生まれてきます。

お母さんのおなかの中には、赤ちゃんが育つための栄養を送る、赤ちゃんとお母さんをつなぐ管があります。赤ちゃんの体でできる、いらなくなったものも、この管からお母さんの体に送られて、体の外に出ていきます。

この管は、赤ちゃんが産まれてきた後は、いらなくなります。生まれたばかりの赤ちゃんは、この管の切れはしを、おなかにつけたままです。1週間もしないうちに、この管はひからびて、とれてしまいます。これが、「へそのお」です。あなたのへそのおも、家のどこかにしまっているかもしれませんよ。へそのおがとれたあとが、へそになります。

### 卵で生まれる動物には、へそはない

カエルのように卵で生まれる動物は、お母さんのおなかにはありませんから、栄養をもらう管もなく、へそもありません。（監修・今泉 忠明）

